



取り上げるべきものと思いますし、ことに公共施設等には重点的に五周年事業として進めるべきであろうと思います。またこれはこまかいことですが、すでに四十九年度予算にも少々盛り込んでいるものでございますけれども、福生市を将来に伝える記録映画、これは五十年年度におきましても追加の予算をご審議いただきたいと思えます。また追加といたしまして市^勢政要覧等も多少つくらせていただくようになるのではないかと考えております。そのほか文化祭であるとか、あるいは体育祭等お説のようなことを盛り込んだほうがよろしいのではないかと考えているわけでございますけれども、特に文化祭、体育祭についてはご意見のありましたように市民全員が参加できるような方法で盛り込んでいくのがよいのではないかと考えておりますが、また具体的には何ら決定をみておりません。

また次の五カ年計画に関する問題でございますが、まだ議会にもご相談申しあげておりませんので少々早きに失するわけでございしますが、もし補助金が可能であるならば市民会館もぜひつくらせていただきたい。もし市民会館が着手できるならばそれを



五周年事業としての名称を冠してもよろしいのではないかと考えているわけでございます。これにつきましてはまだ補助金等が未定でございますので、はっきりと決定的なことは申しあげられませんし、またご相談申しあげるのも少々早計ではないかと考えている次第でございます。

五カ年の将来の事業でございますけれども、ご承知のように非常に現在自治体の財政は困難をきわめております。主として将来の構想と申しますと、公共投資ということになるわけでございますけれども、統需要抑制は想像以上にきびしく、また物価の高騰は建設事業ばかりでなくすべての行政を圧迫し非常に硬直化しております。給料等につきましても国の監督もございすし当然アップする。これにつきましては後日議会にお願いをするようになるわけでございますが、五十年度は自治体の危機といっても過言ではないと、そのような状態でございます。

さて、五カ年の事業と申ししましても、建設事業あるいは福祉の保護とのバランスの上に立つて考えることでございすけれども、建設事業につきましてはかねてからご相談を申しあげてございす基本構

想を来年の三月議会に上程を申しあげたいと考えておりまして、それに間に合うように基本構想審議会も開催させていただきたいと思っております。

また基本構想の決定と同時に、同時というよりもそれまでに建設につきましては大体の五カ年計画をつくっていくようたたいま作業を進めている段階でございます。これもまだ決定的なことを発表する段階ではございませんので、いまままだ決定的なこと

いわけでございます。しかしながら当然次の五カ年と申しますと、最重要

点にまいりますのは下水道でございます。そのほかお説のように道徳的な退廃あるいは公德心のかん養あるいは週休二日制の問題、これらに対処すべき施設、すなわち市民会館、公民館、図書館、地区館、公園、緑地、各学校の増築あるいは道路の整理というものを順次取り急いでやってまいらなければならないというように考えております。しかし先ほども申しあげましたとおり、非常に財政的に多難な道を歩かなければならないわけでございます。起債等も思ふにまかせないような困難にこう着ををすると思います。しかしいままでの経験によりますと、非常に困難なときがやはり何かかて

きる時代であると、私はそのように信じております。いままでもプールにしましてほしいへんに議員各位にお世話になりました。体育館に

しまして非常に財政的には困難なときでございます。しかし議員さんを先頭といたしまして市民各位の非常なご協力があれば何でもできるんだというように私は考えております。ぜひ一つご協力を賜わり

まして、順次週休二日制あるいは公德心等いろいろな問題にからみ合わせまして、すべての施策が非常に急を要すると思っておりますので、ぜひ一つご指導とご協力をいただきたいと思う次第でございます。

たいへんに粗末な答弁でございます。ご納得をいただきかねるかと思ひますけれども、ぜひ一つご了解をいただきましてご協力を賜わりたいと思ひます。もしこまかいところがございましたら担当課長をもちまして答弁を申しあげたいと思ひます。よろしく願ひいたします。

〇二十番（宮沢良一君） ただいまの答弁中一、二まだ答弁をいただきたい点が残っているわけですが、最後のほうに述べた問題ですが、道徳を育てるためには市全体がそういう姿勢をもつてぶつかってもらいた

い。たとえば感謝状なり表彰状なりを出してそのようなムードをつくるのが大切ではないか。これはいかにもお願いしたのですが、青少年問題協議会等は年に二回の説明会等で終わっているわけですが、実際は青少年野球チームをつくり体力また精神、規律、道徳等も身につけさせようと活動をされている方が多いわけです。そういう方々等にも表彰状なり出せるような考えを持っていただけるのかどうか。それからいろいろ財政的には困難かもしれないが、先ほど市長も困難な中を体育館なり何なりをつくってこられたということであり、やはりこれから一億総レジャーという時代に入ってくる中で、福生市もそういう一つの時代に取り遅れないためにも施設をつくっていかなくてはならない。児童公園等は計画を立ててつやっていたいただきたいと思いますがその点どうなのか。また基本構想審議会についてのメンバーがきまったのかどうか。その点もお聞かせいただきたいと思います。それからもう一つ、小口資金制度と入学支度金は別個に考えていただきたい。毎年かなりの要望が出てくるわけです。したがって育英資金等に取りつける方はごく一部の方であります。一部の学生は入学してしまえ

は授業料^か貸付けられるわけですが、一番の問題は入学支度金である。このような制度は都でも市でも全然ないので、一日も早く小口貸付制度を別個に考えていただきたいと思うのでお答え願いたいと思います。

○市長（石川常太郎君） 自席からお答え申しあげます。

失言いたしましたへん失礼を申しあげました。

最初の表彰の点でございますが、私はよろしい者の表彰等はなるべくやりたいと考えております。これはこればかりに限らずいろいろなものにもいえると思います。でございますから、ご連絡をいただきあるいはまた役所で審議いたしましたして、なるべくそのようにもっていきたいと考えております。

二番目の市民会館とか公園でございますが、先ほど申しあげましたように議会にお話しをしてございませんが、これは市のほうといたしますと資金の目標が立ちませんと話もできかねるわけでございます。実はその後折衝をしているわけです。何とか五周年記念と銘打って市民会館をやりたいという覚悟でただいま強力に折衝しております。

またそれにつきまして公園等もぜひ一つつくるよう前向きに折衝を続けております。基本構想の審議会につきましては近々お願いをしたいと考えております。小口資金貸付制度は研究いたしまして、その中で一緒にするか別にするかということを考えてまいりたいと思います。ただいま別にするということとは少々申しあげかねまして、その研究過程においてどちらがよろしいかということの研究してまいりたいと思います。

○二十番(宮沢良一君)

どうか一日も早くこういった制度ができるよう、また市民で善行をした方たちに報いられるような、そういった状態に姿勢を向けていただきたい。一つ極力全力を向けて当たっていただきたいということと私の一般質問を終わります。

○議長(塩野鉄之助君)

暫時休憩いたします。

午前十時四十六分

休憩

午前十時五十七分

開議

○議長(塩野鉄之助君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

福 生 市 議 会

次に十番松山 清君。

(十番松山 清君登壇)

○十番(松山 清君)

三点にわたって一般質問をさせていただきます。

まず第一に図書館について質問いたします。

近年図書館活動が各地においてますます活発になってきております。

当市におきましても関係職員の皆さんの努力により、施設や蔵書の不十分な中でも図書館活動が実りつつあることはたいへん喜ばしいことであります。しかし図書館活動のより大きな発展のため、また何よりも市民

の文化水準の向上のために、また次代をなう子供たちの成長のためにも充実した施設と適切な職員の配置をし、かつ市民の願いにかなう蔵書を有する図書館の中央館及び児童図書館を建設されることが望まれています。福生市においては中央館プラス最低四つの地区館のネット

ワークが必要であろうと考えられます。すでに請願、陳情等において市民から議会に出され、採択になり一日も早い建設が望まれております。このような点で市当局においても中央館及び児童図書館の建設計画を具体的にもっているかどうかお尋ねいたします。



議 百 十五

議 百 一 般 質 問 松 山 議 員

請 願 部 室 更 換

議 百 四

議 百 五

議 百 六

議 百 七

議 百 九

議 百 十

次に現在地域において父母の努力により地域文庫が数カ所開かれております。そこでは図書を図書館より団体貸し出しを受けてきて地域の子供たちに貸し出しをすること等を行っておりますが、いずれもたいへん子供たちや父母に好評を博しております。図書館までは遠くてなかなかいけないが、このような形をとることにより身近に図書館が設置されたように効果を発揮し、いまだ図書館にあまり接していなかった子供たちも読書の習慣を身につけ、また物価高騰の中で本代も大幅に値上げされていることもあり、父母にもたいへん喜ばれております。しかし、これらはいずれも父母の努力により維持されております。今後地域文庫を継続させ発展させるためには、やはり市当局の大きな援助が強く求められております。書架の購入も父母の負担で行われているところもあります。また困っているのは本の保管場所であります。すでに熊川団地の親子読書会からは中古バスを購入して保管場所にしたいとの要望書も提出されていることと思います。また富士見町会のつくし文庫においてもマイクロバスを購入して保管場所にしたいとの要望があるように聞いております。しかしいずれにしても中古車とはいえ相当の値段であるし、

改造費もかかるものであり、父母の負担によりまかなうことはとうていできません。また団体貸し出し専用の図書もありません。また百冊にのぼる本を母親が運ぶことはたいへんなことでありますので、職員の増員等も行い配本サービス等も実施されることが強く望まれております。市当局といたしましても、図書館活動のより発展のための基礎となっていく、これら地域文庫への援助をいまでもそれぞれやってこられたこととは思いますが、現状をよく認識していただきまして、これらの地域文庫に対して一層多くの援助の手を差し伸べてもらいたいと考えておりますが、理事者の考えをお聞きいたします。

次に二番目として、武蔵野地区の開発計画について質問いたします。武蔵野地区はご存じのように、福生市において横田基地による騒音公害の最も大きい地域であります。また基地周辺地域のために防衛施設方の住民追い出し政策のために土地の買収も積極的に行われました。そればかりでなく、砂利採取による環境破壊と、また砂利穴へのごみ投棄による悪臭や火災の発生等も起こり、生活環境は市内において最も悪い地区の一つではないかと思っております。その上、市当局によ

る行政的な手もいままであまり差し伸べられておらず、公共施設は何もないことはもちろんのこと、道路や排水施設等どれをとってみても対策が遅れていることは歴然としております。近年当地区においてもますます居住する人たちが増加してきております。昨年の市の不燃物埋立の穴を掘るときに大きな問題となったように、関係住民からこもごも市の対策が遅れていることをきびしく批判されたことはご存じのことと思います。このような問題が起こった以後若干の道路施設等が行われてまいりました。しかし部分的な改良、改善もさることながら、当地区において生活環境を向上させるための市当局の抜本的な考えをどのようにもっておられるかお尋ねいたします。

最後に^東関東計画による基地拡充について質問いたします。

関東計画もすでに三カ年計画の半ばを過ぎ、米軍側の計画を規定方針どおり強行に^推進めております。中でも在日米空軍の空軍司令部及び第五空軍司令部の建物の建設は、関東計画のいわゆる目玉ともいえるべきものである。建物は地下一階、地上二階建て、延べ面積五千八百平方メートルのもので、第三ゲートの正面

基地の福生市区域に建設されております。現在府中に置かれている

西司令部は、建物の内装が完成する今週中には横田基地に移転する予定であると聞き及んでおります。第五空軍司令部は三沢、横田、嘉手

納、那覇、韓国に配置されているファントム戦闘機など二百五十機以上を指揮下においており、この中には核爆弾持ち込みの事実が暴露された韓国の第三戦術航空団も指揮下に置かれております。また同指令部の

戦闘指揮所には指揮下の各地に直結する電話やボタン一つで米本国やアメリカの全海外基地を呼^び出せる電話がセットされており、まさに米軍の極東における力のシンボルであります。こうしたおそろべき機能を持つ

西司令部が、極東最大といわれた横田基地にいち早くセットされることは、アメリカが関東計画によって横田基地をアメリカの極東戦略にとって一層効率的に使用しようとする体制を整えつつあることは明らかであります。関東計画によって単に住宅がたくさんできるなどというものでは

決してありません。もし万一事が起これば、一番先に攻撃を受ける指令部を有する基地を抱え、市民の安全が脅かされていることは市長においてもよくご存じのことと思います。このようにおそろべき機

能を有する横田基地に対しての市長の現時点における基本的な考えをまず第一にお聞きしたいと思ひます。

次に、九月四日の読売新聞等にも報道されておりご存じのように、東京都公害局の四十八年空港周辺騒音調査の結果が発表されましたが、この調査発表によると、横田基地においても七十ホーンの騒音が五秒以上続いた回数が年間約一万五千回、一日約四十回もあり、二〇%が午後十時から午前七時の深夜であることが明らかにになりました。また最近におきまして騒音が激しくなってきたことはだれしも感じていることと思ひます。このような状況を正しく認識していただき、基地に対して嚴重に休日や深夜の飛行を停止されんことを当然申し入れる必要があると考えますが、市長においての考え方をお尋ねいたします。

簡単な説明でありますが、以上三点にわたって一般質問をさせていただきます。

○市長（石川常太郎君）

ご質問につきましてご答弁を申し上げます。

第一点の図書館あるいは児童館につきましては、先般宮沢議員さんから将来の五カ年計画のご質問もございましたが、私どもとい

たしましても図書館は早急につくるべきものと考えております。当然

市と名がついた以上完備すべきものでございますし、建設が遅れておりますことにつきましては市民各位に申しわけなく存じているのでございまして、先ほども申しあげましたように非常にあせっているような状態でございます。財政的にたいへんに困難でございますけれども、基本

計画の将来に挿入させていただくよう審議会委員各位にお願いをいたしました。一日も早く着手したいと考えるわけでございますが、先ほども申しあげましたように、市民会館と同時期にはできませんので、市民会館の次に図書館の本館はどうかということを私自身としては考えているわけでございまして、時期につきましては審議会並びに議員各位のご意見をこれからお聞きしたいと考えているわけでございます。なお、児童館につきましては中央館に併設するのがよろしいのではないかと考えているわけでございます。

なお、地域文庫につきましてももちろんこれは発展することかよろしいわけでございまして、議員各位のご協力によりましてようやく熊川団地のほうもだいたい進捗いたしております。まことにありがと

うございました。そのようなわけでございまして、私もといたしました。それは一日も早くと考えているわけでございます。図書館の問題につきましては、教育委員会の担当でございます。私も財政的な面を受け持っており、図書館の今後の方針につきましては財政面への相談を受けておりますので、教育委員会の担当課長から詳しくご説明を申しあげたいと思います。この点につきましては私は積極的にあるということでご承知いただきまして、担当課長より説明をお聞き取りいただきたいと思ひます。

武蔵野地区の開発についてでございます。開発が福生のどこよりも遅れておりますことは私もよく存じておりまして、お住まいの方々にたいへん申しわけないということは常々感じておりました。しかしながらいままで再三ご説明を申しあげましたように、地盤が低いところでございまして、どうしても排水関係をいたしませんと本格的なすべての工事ができないわけでございまして、したがひまして、排水に対して相当の努力を重ねたつもりでございます。本日一般会計補正予算で上程を申しあげましてご審議をいただくわけでございますが、武蔵野

地区の雨水排水のための工事の資金といたしまして、ただいま約十億円計上しておりますが、このたび八億円の追加になるわけでございます。一日も早く多摩川までの雨水幹線を通して、武蔵野地区の排水を完全にするのがまず第一番の要件でございます。しかしながら努力をいたしましてそれらの進捗をいたしますが、非常なご迷惑をかけておりますので、建設課に命じまして、本年はご不満でございましょうが、私もといたしましては武蔵野地区の道路に重点的に努力を傾けていくわけでございます。なお、道路の新設あるいは改良につきましては、議員各位並びに地元の方々のたいへんなご協力を賜りましたことをお礼申しあげる次第でございます。今後また新しい道路も武蔵野地区に計画しておりますので、その節は何分ともご協力のほどをお願いしたいと思います。

なお、これも今議会にご上程を申しあげましてご審議をいただきましたわけでございまして、ご可決をいただければたいへん幸いと思う次第でございますが、武蔵野地区に会館をぜひつくらせていただきたいと考えているわけでございます。また、公園等もでき得れば何とかしたいと思ひ

います。今補正予算には公園は載っておりませんけれども、国の土地もございいますので借りることもできますから、それらにつきましてもぜひ実現したいと考えているわけでございします。なおたいへん失礼でございしますが補足いたします。このたび上程いたしました会館につきましては、以前武蔵野並びに近接の町会の方々から請願が出まして、ご採択をいただきましたので、それに基づいたものでございしますことを報告させていただきます。(拍手)

いずれにいたしましても、できるだけ重点的に武蔵野地区の改良をはかってまいりたいと思います。しかしながら基本的には雨水排水が一番の前提でございしますので、それらから完了いたしませんと本格的なことはできないと考えております。

次に、関東計画でございまして、基地の拡充ということとでございします。先ほど基地内建築物についてのご説明がございましたが、大体お説のようなものができるようでございします。私ももちろんこまかいことは存じませんが、新聞に出ておりましたとおりでございまして、武蔵村山市分の弾薬庫跡のは集約と同じようなものでございしますが、G・

H・G・Pと申します移動計画で、福生分のもは関東集約でございします。そしてただいま工事中でございしますが、日本政府の資金等

によりまして、多少遅れるようなことがあるかもしれないということとでございまして、五十一年三月までの完成でございしますが、五十一年三月があるいは伸びるのではないかと聞いておりますけれども、ただいま私の知るところでございしますと、十一月の中旬頃には在日米軍司令部並びに第五空軍司令部が移転するようでございします。たいへんに困ったこととでございまして、私も非常に市民のために申しわけないと存じております。しかしながらこの際少々見解を申しあげさせていただきたいと思ひますが、私一個人といたしますとこれは法律で定め、日米間の条約で定められたことであり、これは法でやっていることとでございします。やはり法は守らなければなりませんし、また日本の安全を守ることが自己を守る前提

であると、そのように考えているわけでございしますし、私はアメリカが日本にいてもしようがないだろうということをだれにも押しつけるつもりはございません。これは私の考えでございします。しかし市長という公的な立場になりますと、個人的な考えであるとかあるいは思想であるとかい



うもので対処すべき問題ではございませんでして、率直に申しあげますと、あくまでもどのような方法をとったらずに市に一番有利だろうかという観点から冷静に判断すべき問題であらうと考えるわけでございます。反対をしたら市民が有利だろうか。あるいはこのままが市民に有利だろうか。こういうようなことで判断すべき問題だらうと率直に申しあげること次第でございます。私は自衛隊も必要だらうと思います。しかし基地が福生にあることは非常に迷惑でございます。どなたでも迷惑しておられます。たいへんにエゴなことになります。できればこれはどこかに移転してもらいたいと思います。いわゆる総論賛成各論反対と申しますか、ちやうど例を申しあげますと、杉並のごみ処理場のようなものでございまして、どこかにあってもしょうがないが、私のほうにはないほうがいいと、これは当然のことと思います。しかしいままでのいろいろないきさつ、また運動の結果、偉い方々のご意見は、国が非常に大きな投資を横田基地にしているということでもし烈な反対運動をしても、またたいま非合法的な反対運動をしてもなかなか横田基地は動かないだらうと判断をしているわけでございます。しかし市民の方々に非常に迷惑をかけ



大きな被害をもたらしているわけでございますから、そのかわりとして住民対策として援助をしてもらいたいということでも懸命に努力をしているわけでございますけれども、なかなか思うにまかせませんし、またここで総需要抑制等の状態でございます。うまくまいりませんことを市民におわび申しあげなければならぬわけでございます。非常につらい立場でございますけれども、反対に立ち上がってもできないと判断をしているわけでございます。たいへんくだいようですがそのような考えでございます。今後私は執念をもちまして国に目をさませなければならぬと、断じて国に、政府に目を開かせ、そして福生市民が幸福な生活ができるような施策をすべてやれということを強く要望し続けてまいりたいと思っております。私は一つの執念としていま運動をしております。ほとんどの議員の非常なご支援をいただいておりますし、また議会側といたしましてもたいへんご努力をいただいているわけでございますので、これらにつきましてはこの場でお礼を申しあげる次第でございますが、今後ともよろしくひとつお願いを申しあげたいと思います。たいへん立場が違えばとんでもないというご不満があると思